

特定施設設置届出書

〇〇年 △月□□日

八戸市公共下水道管理者 殿

申請者

住 所 八戸市内丸一丁目1-1

電 話 0178 (43) 2111

氏 名(法人名) 株式会社〇〇

代表取締役 八戸 太郎

下水道法第12条の3第1項（下水道法第25条の10第1項において準用する同法第12条の3第1項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇給油所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	八戸市江陽三丁目1-111	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	71 自動式車輛洗淨施設	※施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙1のとおり	※審査結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙2のとおり	※備 考	
△ 汚水処理の方法	別紙3のとおり		
△ 下水の量及び質	別紙4のとおり		
△ 用水及び排水の系統	別紙5のとおり		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の要旨の大きさは、図面、表などやむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	1	
特定施設番号及び名称	71 自動式車輛洗淨施設	
型 式	〇〇社製 △△-□□□	
構 造	鋼板製 (別添参照)	
主 要 寸 法	L 2, 500 mm W 3, 600 mm H 3, 000 mm	
能 力	最大約 20 台/時間	
配 置	別添参照	
設 置 年 月 日	〇〇年 △月□□日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 △月□□日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 △月□□日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 △月□□日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1				
特定施設番号及び名称	71 自動式車輛洗淨施設				
設置場所	別添参照				
操業の系統	別添参照				
使用時間間隔	連続使用				
1日あたりの使用時間	○時間 (○:○○~○:○○)				
使用の季節的変動	冬期間減少				
原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	シャンプー○L ワックス○L 特殊コート○L				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水温(℃)	6~8	5~9		
	pH	200	600		
	BOD(mg/L)				
	SS(mg/L)	200	600		
	n-ヘキサン抽出物質含有量(mg/L)	15	30		
	よう素消費量(mg/L)				
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	1	2			
その他参考となるべき事項	通常洗車台数 10台/日		最大洗車台数 30台/日		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		A 油水分離槽				B 油水分離槽			
処理施設の設置場所		別添参照				同左			
設置年月日		〇〇年 ××月 □□日				同左			
工事着手予定年月日		〇〇年 ××月 □□日				同左			
工事完成予定年月日		〇〇年 ××月 □□日				同左			
使用開始予定年月日		〇〇年 ××月 □□日				同左			
種類及び型式		別添参照				同左			
構造		鉄筋コンクリート				同左			
主要寸法		別添参照				同左			
能力		3 m ³				4 m ³			
処理の方式		自然分離方式				同左			
処理の系統		別添参照				同左			
集水及び導水の方法		別添参照				同左			
使用時間間隔		連続				同左			
1日当たりの使用時間		〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇				同左			
使用の季節変動		冬期間減少等				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		なし				なし			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水温 (°C)					5~6	5~6	5~6	5~6
	pH	200	100	600	300	1	0.5	2	0.8
	BOD (mg/L)								
	SS (mg/L)	200	100	600	300	2	0.4	3	0.6
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	15	1	30	4	1	0.2	2	0.3
	よう素消費量 (mg/L)								
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		油分〇L/月 汚泥〇kg/月				汚泥〇kg/月			
排出水の排出方法		公共下水道				側溝			
その他参考となるべき事項		事業系（主に洗車排水）の処理				主に場内の雨水を処理			

備考1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口①（下水道）		排水口②（雨水排水）	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水温（℃）	6～8	5～9	5～6	5～6
	pH	100	300	0.5	0.8
	BOD（mg/L）				
	SS（mg/L）	100	300	0.4	0.6
	n-ヘキサン抽出物質含有量（mg/L）	1	4	0.2	0.3
	よう素消費量（mg/L）				
	排水水の量 （m ³ /日）	通常	最大	通常	最大
		2	4	0	
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の 系 統</p>	<p>別添参照</p>		
<p>用 途 別 用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>生活排水</p>	<p>水道水</p>	<p>1.0</p>
	<p>洗車排水</p>	<p>井戸水</p>	<p>1.0</p>

参考事項

1. 連絡先 届出内容の確認が必要となった場合の担当者の連絡先を記載ください。

連絡先	住 所	八戸市内丸一丁目 1 - 1		
	名 称	株式会社〇〇		
	担 当 者 所属部署	総務課	担 当 者 氏 名	青森 三郎
	電 話	〇〇-△△□□	F A X	〇〇-□□△△

2. その他参考 (※届出者は記入しないこと)

--